

平成 25 年度

(平成 25 年 (2013 年) 4 月 1 日～平成 26 年 (2014 年) 3 月 31 日)

事業報告書

平成 26 年 5 月

公益財団法人浜松国際交流協会

目次

事業実施の背景と取り組み	3
事業報告	
公益事業 1	
1. 国際理解教育推進事業	5
①地球人教育出前講座（市委託：多文化共生センター事業）	
②国際理解教育講座（自主事業、市委託：多文化共生センター事業）	
③第4回はままつグローバルフェア（自主事業）	
④多文化体験・交流事業（市委託：外国人学習支援センター事業）	
2. 外国語講座事業	10
①国際交流のための外国語講座（自主事業）	
②国際交流のための外国語サロン（自主事業）	
③外国人支援者のためのポルトガル語講座（市委託：外国人学習支援センター事業）	
3. 国際交流事業（自主事業）	12
①オープンイベント	
②まるごとペルー体験	
③ワールドゆかたおしゃれコンテスト	
④親子でまち歩き	
⑤多言語 de 世界のクッキング体験	
⑥ブラジルの魅力	
⑦親子で English	
⑧感謝の集い	
⑨ポルトガル語スピーチコンテスト	
4. ボランティア活動支援事業（自主事業）	14
①HICE ボランティアバンクの運営	
②ホームステイ・コーディネート	
5. 国際交流活動支援事業	15
①多文化共生・国際交流推進事業費補助金の交付	
②天竜地域事業（市委託：外国人学習支援センター・自主事業）	
③セミナールームの活用（市委託：多文化共生センター事業）	
④多文化共生・国際交流活動支援事業（市委託：多文化共生センター事業）	
6. 情報提供事業	19
①機関紙 HICE NEWS の発行（自主事業）	
②ホームページの運営（自主事業）	
③Facebook の運用（自主事業）	
④HICE info メールによる情報配信（自主事業）	

- ⑤CIR NEWS の配信（自主事業）
- ⑥情報カウンターの設置（市委託：多文化共生センター事業）
- ⑦催し物案内ミニリーフレットの配布（自主事業）

公益事業2

1. 日本語教育事業	21
①外国人市民を対象とした日本語教室（市委託：外国人学習支援センター事業）	
②学習支援ボランティア養成講座（市委託：外国人学習支援センター事業）	
③地域日本語学習支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業）	
④浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム普及事業（文化庁委託）	
2. 相談事業	28
①外国人市民のための生活相談（市委託：多文化共生センター事業）	
②ワンストップ相談コーナーの運営（他機関連携事業）	
③出張相談（市委託：多文化共生センター事業）	
④中国残留邦人支援事業（市委託事業）	
⑤法律相談（自主事業）	
⑥税務相談（自主事業）	
⑦メンタルヘルス相談（市委託事業）	
3. 人材育成事業（市委託：多文化共生センター事業）	33
①ソーシャルワーク研修	
②コミュニティ・エンパワメント	
4. 外国人子ども支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業）	35
①外国人子ども学習支援ボランティア活動コーディネート	
②外国につながる若者の学び直し教室	
5. 多様性を生かしたまちづくり事業（市委託：多文化共生センター事業）	36
①はままつ多文化共生 MONTH 事業コーディネート	
②文化紹介事業	
③78ヶ国の浜松市民が大集合！？～未来はみんなでつくる！	
④地域活性化セミナー	
6. 地域共生推進事業（市委託：多文化共生センター事業）	37
①各地域への個別支援	
②地域共生自治会会議	
7. 災害時多言語支援事業（市委託：多文化共生センター事業）	38
①災害時多言語支援センター設置準備	
②市民団体・外国人コミュニティ支援体制の整備	
③民間団体等との協働事業	
④災害時の情報提供	

事業実施の背景と取り組み

平成 25 年度は景気回復が続き、在住外国人の雇用状況も改善されてきた。人手不足の兆しも見えてきており、外国人の受け入れについても国政レベルで活発な議論が展開され、技能実習生や特定活動による限定的な外国人労働者の受け入れについて具体的な検討が始まっている。

しかし、景気回復にもかかわらず、多くの外国人労働者の雇用契約は数ヶ月単位の更新が多く、安定した生活に結びつくものではない。平成 21 年度に行われた帰国支援事業を利用して帰国した南米系日系人に対し、1 年以上の雇用契約を提示する場合には日系人としての同様のビザで日本への入国が可能となったが、それも実際は難しい状況である。

一方、すでに日本に定住している在住外国人への施策として特筆すべきなのは、文科省が平成 26 年度から日本語教育を特別な教育課程として位置づけたことである。実質的な運用については今後の課題だが、日本の義務教育課程において日本語教育をサービスとしてではなく、教育課程として位置づけたことは日本語を母語としない外国人を覚悟と責任を持って受け入れていくということであり、非常に大きな一歩である。

浜松市に目を転じると、平成 25 年度は浜松市多文化共生都市ビジョンの初年度であり、当協会としても、多様性を生かしたまちづくり事業及び災害時多言語支援事業を新規事業として市より受託して行った。多様性を生かしたまちづくり事業の一連の取り組みの中で、自治体国際化協会の助成金事業として行った「78ヶ国の浜松市民が大集合！？未来はみんなでつくる！」は、外国にルーツを持つ若者らの企画運営により 28 か国 230 名が参加した。これは、これまでの外国人支援活動や自助活動の「支援」や「課題解決」を目指したものとは異なり、外国につながる人々自身が「多様性の豊かさ」を発信する象徴的なイベントとなった。

災害時多言語支援については、平成 25 年度は、ブラジルやフィリピンなどの外国人コミュニティとの連携会議を開催し、災害時多言語支援センターの機能について周知するとともに、浜松市内の外国人コミュニティの拠点である教会や店舗などを調査・リストアップし、浜松市が作成する外国語版・避難行動計画の地図にも反映した。

先導的事业として当協会で策定した「浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム」（文化庁委託事業）については、平成 25 年度は地域の日本語教室に普及するために検討と改善を加えた。次年度においてはその結果をふまえ、地域の日本語教室と連携しながら普及し、浜松市全体の日本語学習環境の整備につなげていく。

組織面としては、中期計画の策定に着手した。次年度早期の完成を目指し、当協会の使命と展望を明確にし、経営基盤の強化と業務の効率化を図りつつ、当協会の強みを生かし効果的な事業運営につなげていくことで、より社会のニーズに応えられる組織となることを目指していく。

平成25年度 総事業費 9,264万円

うち、浜松市からの受託収入と補助金 8,002万円 (86.4%)

公益1事業

1. 国際理解教育推進事業
2. 外国語講座事業
3. 国際交流事業
4. ボランティア活動支援事業
5. 国際交流活動支援事業
6. 情報提供事業

市補助金 637万円

3,914万円
(構成比 42%)

多文化共生センター

市受託 3,329万円

外国人学習支援センター

市受託 2,951万円

公益2事業

1. 日本語教育事業
2. 相談事業 (中国残留邦人支援、メンタルヘルス相談)
3. 人材育成事業
4. 外国人子ども支援事業
5. 多様性を生かしたまちづくり事業 ★新規
6. 地域共生推進事業
7. 災害時多言語支援事業 ★新規

市受託 1,086万円

4,597万円
(構成比 50%)

日本語コミュニケーション能力評価システム普及
(文化庁 220万円)

先導的 事業

78ヶ国の浜松市民が大集合！？
(クレア 140万円)

法人会計 754万円
(構成比 8%)

多文化共生社会の推進

事業報告

公益事業 1 (国際理解・交流事業)

1. 国際理解教育推進事業 参加者数：延べ 8,064 人

① 地球人教育出前講座及びコーディネート

(市委託；浜松市多文化共生センター事業) (1,803 人)

国際協力機構（JICA）と連携し、外国人講師や国際理解教育の専門家の講師派遣等を通じて、市内小中学校や公民館等における国際理解を推進した。

■学校への派遣

学校名	派遣人数	対象/参加者数
浜松学院中学校	3 人	中学生 85 人
静岡大学付属小学校	4 人	小学生 336 人
新津中学校	2 人	中学生 128 人
江南中学校	1 人	教員 64 人
延べ 4 校	延べ 10 人	延べ 613 人

■協働センター等への派遣・コーディネート

派遣先名	派遣人数	対象/参加者数
浜松市立看護専門学校	延べ 13 人	看護学生延べ 520 人
蒲協働センター	2 人	11 人
JICA シニア OB 会	1 人	30 人
ボランティア団体	1 人	59 人
ロータリークラブ	1 人	100 人
職業訓練校	7 人	延べ 84 人
移民政策学会	1 人	200 人
延べ 7 か所	延べ 26 人	延べ 1,004 人

■学校等からの訪問

学校名	期間	参加者数
静岡文化芸術大学	12 日	13 人
海外日系人協会	2 日	48 人
明星大学	2 日	4 人
静岡大学	1 日	17 人
静岡県立大学	1 日	1 人

韓国全国多文化都市協議会	1 日	9 人
浜北西高校	2 日	2 人
KTC 高等学園	1 日	2 人
静岡大学附属中学校	2 日	7 人
新津中学校	3 日	11 人
愛知大学	10 日	2 人
慶応大学	1 日	2 人
金沢大学	1 日	1 人
東京外国語大学	2 日	3 人
愛知教育大学	1 日	22 人
清竜中学校	2 日	2 人
黄柳野高校	2 日	2 人
JICE	3 日	12 人
鹿玉中学校	2 日	1 人
豊田市国際交流協会	1 日	1 人
東部中学校	1 日	2 人
浜松学院高校	1 日	7 人
春日井市役所	1 日	2 人
京都外国語大学	1 日	7 人
法政大学	1 日	1 人
第一高等学院	1 日	2 人
広島学院高校	1 日	3 人
延べ 27 団体	延べ 59 日	延べ 186 人

②国際理解教育講座（市委託；浜松市多文化共生センター事業、自主事業）（175 人）

■国際理解教育ワークショップ（57 人）

内 容 国際理解教育に初めて触れる人向けに、関心のあるテーマ別に行う講座。

場 所 多文化共生センター

対 象 中学生、高校生、大学生、教員、一般など国際理解教育やテーマに関心のある人

共 催 はままつ国際理解教育ネット、JICA 中部

第 1 回「いろいろな価値観に出会い、考え、行動する」

日時：7 月 7 日（日）14：00～16：00

講師：池住義憲（立教大学大学院特任教授）

参加者：30 人

第 2 回「価値観のぶつかりあいの意義を人に伝える」

日時：7月14日（日）10：00～16：00

講師：伊沢令子（NPO 法人 名古屋国際理解教育センター代表理事：NIED）

参加者：27 人

■国際理解教育ファシリテーター養成リレー講座（118 人）

内 容 在住外国人も多く、国際的な活動を展開する企業も多い浜松市において、真に国際理解の進んだグローバルな地域にしていくためには、人類共通の課題である多文化共生・貧困・異文化理解・環境などを自分の課題としてとらえ、解決に向けて行動を起こす人材を育てることが必須である。そのために、参加型学習という方法で実践できる人材を育てるための国際理解教育ファシリテーター養成講座を開催した。この講座受講生が、2月16日に行われたグローバルフェア内で国際理解教育ファシリテーターとして活躍した。

場 所 多文化共生センター

対 象 教員、ボランティア活動者など

参加者 延べ 118 人

共 催 はままつ国際理解教育ネット、JICA 中部

8月25日（日） 13：00～17：00	「国際理解教育ファシリテーターとは」 ・「国際理解教育」と「参加型学習」 ・ファシリテーターに誰でもなれる！？	36 人
9月29日（日） 13：00～17：00	「多文化共生をテーマに考えよう」 ・自分自身の価値観をふりかえり、他者の多様性と価値観の違いを実感 ・多様なもの・こと・ひとと肯定的に出会う	31 人
10月20日（日） 13：00～17：00	「定番ワークショップを使いこなすコツ」 ・「貿易ゲーム」を始めとした既存のワークショップをマスターしよう ・ファシリテーターとしてのすきるアップ！？	28 人
11月17日（日） 10：00～17：00	「ワークショップづくりと実践」 ・ワークショップのプログラムづくりの「いろは」 ・プログラムをつくったら実践してみよう	23 人
合計		118 人

③第4回はままつグローバルフェア（自主事業）（4,571 人）

目 的 ①広く市民（特に次世代を担う子ども）に呼び掛け、国際交流に参加する初めの一歩とする。また、多文化共生や国際協力について考えてもらうきっかけとする。

②市民協働により企画運営することで、市民の主体的な動きを促す。

③国際理解教育ファシリテーター養成講座の成果を発表する機会とする。

日 時 2月16日(日) 10:00 ～ 17:00

場 所 クリエイト浜松

参加者 一般市民 4,571人

主 催 公益財団法人浜松国際交流協会、はままつ国際理解教育ネット、独立行政法人国際協力機構中部国際センター（JICA 中部）、公益財団法人浜松市文化振興財団（クリエート浜松）

後 援 浜松市、浜松市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、NHK静岡放送局、朝日新聞静岡総局、k-mix、Fm Haro!

内 容

1階 World Market Zone ワールド・マーケット・ゾーン			
会場	内容	担当	詳細
ふれあい広場	物品販売・ブース出展	HICE、はま国ネット	フェアトレード商品、国際交流や多文化共生に関する活動紹介、物品販売。22団体参加。
喫茶コーナーの脇壁面	団体活動紹介展示		市民団体等による、模造紙1枚程度の展示で、国際交流や多文化共生に関する活動を紹介。9団体参加。
ふれあい広場奥の壁面	「平和」壁画展示アートマイル	JICA	「平和」をテーマにイギリス、ルワンダ、インドネシア、ロシア、東エルサレム、ナイジェリア、日本の子どもたちが共同で製作した壁画を展示。
ふれあい広場	TV 電話で世界をつなぐ	JICA	ブラジルとウガンダで活躍する JICA ボランティアと TV 電話。世界の「今」を感じてもらった。
2階 World Stage Zone ワールド・ステージ・ゾーン			
ホール	開会式・表彰式	HICE、はま国ネット	10:00—11:00 開会式・表彰式 絵画コンクール「世界のみんなといっしょに」 作文コンクール「このまちから国際理解を広めよう」
	ワークショップ	はま国ネット	11:00—12:00 「世界がもし 100 人の村だったらワークショップ」 世界の 70 億人の人口規模を 100 人に縮めたらどうなるかを体感し、世界の現在を知るワークショップ。
	国際協カステージ	JICA	13:30—15:00 「地球のステージ2 震災篇～国境を越えて～」桑山紀彦氏による映像と音楽のライブ。県立気賀高校の生徒さんによる震災支援の報告。
	着物 SHOW	クリエート	16:00—17:00 多国籍市民がモデルの着物ショー。十二単と帯結びを合計 25 人のモデルが披露した。 提供：ハクビ京都きもの学院静岡校
アトリエ	ものづくり体験教室	はま国ネット、クリエート	「フェアトレードビーズでストラップづくり」 「イギリスから世界に広まったビー玉万華鏡」 「和紙を使ったちぎり絵で日本の文化を感じよう」
21 講座室	展示・体験	JICA	10:00—16:00 「巨大積み木で遊ぼう」

			間伐材を使った積み木で森のこと、地球のことを考えながら遊ぶスペースを設置。提供：オイスカ専門学校
4階 World Food Zone ワールド・フード・ゾーン			
踊り場 スペース	世界の料理	HICE	ブラジル、ペルー、インドネシア、フィリピン、フェアトレード・ベジカレー、ジビエなど9店舗が出店
5階 Workshop Zone ワークショップ・ゾーン			
セミナー ルーム	国際理解教育ワークショップ	はま国ネット	10:00—12:00 国際理解教育ワークショップ 「映画を観て考えよう！」 「足下から考える多文化共生」
	遊び体験	HICE	14:00—17:00 世界一周！遊びで体験 世界のボードゲームをその国の言葉で楽しみながらいろいろな国の人と交流を深める。 提供：フレクティブ、ボードゲー共和国
	多文化ワークショップ	HICE	14:00—15:30 多文化ステージ・ワークショップ ペルーや日本の子どもたちが音楽に合わせてダンスをつくり、披露した。提供：劇団 TOMO
和室	日本文化体験	クリエート浜松	10:00 —14:00 日本の着物の着付け体験 提供：ハクビ京都きもの学院静岡校提供
54 会議室		HICE	10:00—15:30 日本のいけばな体験 提供：YUMEHANA School

④ 多文化体験・交流事業（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）（1,515 人）

	コース	日程	内容	参加者数
1	日本文化	5 月 29 日	ふろしき	14
2	日本文化	6 月 10 日	田植え体験	16
3	日本文化	6 月 26 日	浴衣を着よう！	20
4	海外文化	7 月 31 日	福を呼ぶ中国の剪紙	18
5	海外文化	9 月 20 日	ベトナム人教授から学ぶ！中秋の名月とベトナム文化	21
6	日本文化	10 月 23 日	稲刈り体験	18
7	日本文化	11 月 13 日	いけばな	18
8	海外文化	12 月 25 日	ブラジルのクリスマス	13

■多文化イベント

	第1回	第2回	第3回	第4回
テーマ	フェスタジュニーナ (ブラジルの収穫祭)	今年の夏は親子でふれあい English!	ワールドクラフト フェア	インターナショナル パーティー
開催日	6月23日(日)	8月25日(日)	10月5日(土)	11月23日(日)
場所	外国人学習支援センター	外国人学習支援センター	イオン浜松志都呂店	外国人学習支援センター
協力	セメンチ パラ オフトゥーロ	Filipino English Teachers Japan		
参加者	200人	67人	810人	300人
合計				1,377人

2. 外国語講座事業 参加者数：延べ1,593人

①国際交流のための外国語講座（自主事業）（160人） 会場：多文化共生センター

■国際交流のための中国語講座：初級（全8回）

講師	趙驕陽（ちょうきょうよう）		
日程	金曜日 19:00～20:30		
第1期	6月4日～7月30日	受講者 合計14人	10人
第3期	1月24日～3月14日		4人

■国際交流のためのインドネシア語講座：初級（全8回）

講師	アストリッド		
日程	水曜日 19:00～20:30		
第1期	6月5日～7月24日	受講者 合計18人	14人
第3期	1月22日～3月12日		4人

■国際交流のための英語講座：中級（全8回）

講師	ダビッド・マーテル（火）、キャロル・チェン（木）、マークス・スプリンガー（木）、スティーブン（木）		
日程	火曜日 10:00～11:30、木曜日 19:00～20:30		
第1期	6月6日～7月25日（夜）	受講者 合計58人	15人
第2期	10月1日～12月3日（昼）		6人
	10月10日～11月28日（夜）		12人
第3期	1月21日～3月11日（昼）		13人
	1月23日～3月13日（夜）		12人

■国際交流のためのスペイン語講座：初級（全8回）

講師	遠藤明美		
日程	金曜日 19:00～20:30 ※3月7日は講師の都合でお休み		
第1期	6月7日～7月26日	受講者 合計 32人	15人
第2期	10月11日～11月29日		8人
第3期	1月24日～3月21日		9人

■国際交流のためのポルトガル語講座：中級（全8回）

講師	宮田ロベルト		
日程	土曜日 10:00～11:30		
第1期	6月8日～7月27日	受講者 合計 9人	9人

■国際交流のためのベトナム語講座：初級（全8回）

講師	ラム・クエン		
日程	水曜日 19:00～20:30 ※3月12日は講師の都合でお休み		
第1期	6月5日～7月24日	受講者 合計 29人	13人
第2期	10月9日～11月27日		8人
第3期	1月22日～3月19日		8人

②国際交流のための外国語サロン（自主事業）（291人） 会場：多文化共生センター

■各国語サロン：中級以上

講座名	中国語で学ぶ中国の現在	ポルトガル語サロン	Let's E-会話
開催日	4月～12月 土曜日 10:00～11:30	4月、9月、3月 土曜日 10:00～11:30	4月～3月 月1回 日曜日 13:30～15:30
回数	6回	3回	12回
参加者	延べ50人	延べ29人	延べ175人
合計			254人

■英語で学ぶ HICE 白熱教室：中級以上

講師	マーカス・スプリンガー		
テーマ	英語で行う効果的なプレゼンテーションの方法 欧米の教育と日本の教育の違いについて		
日時	7月28日（日）、12月8日（日） 10:00～12:00		

参加者	延べ 37 人
-----	---------

② 外国人支援者のためのポルトガル語講座

(市委託；浜松市外国人学習支援センター事業) (1, 142 人)

場 所 外国人学習支援センター

協力団体 Semente para o Futuro (将来のためのたね)

基礎～初級レベルのポルトガル語会話とブラジル文化を学ぶ

	日程	参加者
1 期	5 月 7 日～7 月 16 日 (11 回) 火曜コース 19:00～20:30	214 人
	5 月 9 日～7 月 18 日 (11 回) 木曜コース 19:00～20:30	184 人
2 期	8 月 27 日～11 月 12 日 (11 回) 火曜コース 19:00～20:30	216 人
	9 月 29 日～11 月 7 日 (11 回) 木曜コース 19:00～20:30	195 人
3 期	12 月 17 日～3 月 11 日 (11 回) 火曜コース 19:00～20:30	178 人
	12 月 19 日～3 月 6 日 (11 回) 木曜コース 19:00～20:30	155 人
合計		1, 142 人

3. 国際交流事業（自主事業） 参加者数：延べ 715 人

① オープンイベント (117 人)

日 時 4 月 21 日(日)10:00～16:00

場 所 多文化共生センター

内 容 【午前】英語による特別セミナー

【午後】多文化体験フェア（ココナツオイル作り、ストラップ作り、ブラジル粘土細工、民族衣装体験）

参加者 117 人

共 催 JICA 中部

② まるごとペルー体験 (123 人)

日 時 6 月 30 日(日)13:30～16:30

場 所 クリエート浜松 1 階 ふれあい広場

内 容 ペルー領事館によるペルーの文化紹介、ペルーダンス、民族衣装ファッションショー

参加者 123 人

共 催 Asociacion Civil Gestion Ciudadna

協 力 在日ペルー領事館

③ ワールドゆかたおしゃれコンテストへの出場者コーディネート (19 人)

日 時 7 月 7 日(日)11:00～17:00

場 所 浜松市ギャラリーモール「ソラモ」

内 容 「YUKATA フェスタはままつ」で開催される「おしゃれゆかたコンテスト」への外国人参加者の募集、着付け等を行った。

参加者 13 人 ボランティア 6 人（運営 2 人、着付け 4 人）

④親子でまち歩き（33 人）

浜松のまちなかにあるブラジルスポットを親子で見学。

日 時 7 月 31 日（水） 10：00～13：00

内 容 ポルトガル語ミニ会話練習、日本とブラジルの関係についてのお話

在浜松ブラジル総領事館、ブラジル銀行、ブラジル・レストラン・セルヴィツォを訪問

参加者 33 人

⑤多言語 de 世界のクッキング体験（70 人）

共 催：フレクティブ

日 時	8 月 20 日（火） 10:00～12:00	8 月 27 日（火） 10:00～12:00	9 月 7 日（土） 10:00～12:00
場 所	クリエート浜松 4 階 クッキングルーム		
内 容	英語でカナダ料理	韓国語で韓国料理	スペイン語でペルー料理
参加者	27 人	24 人	19 人
合計			70 人

⑥ブラジルの魅力（43 人）

日 時 10 月 13 日（日） 13:30～15:30

場 所 多文化共生センター

内 容 ブラジルの観光スポットの紹介、ブラジルの祭りの紹介

講 師 アマド・パウロ 在浜松ブラジル総領事館副総領事

富田崇寛（株）ツニブラトラベル

参加者 43 人

共 催 （株）ツニブラトラベル

後 援 在浜松ブラジル総領事館

⑦親子で English（163 人）

日本人・フィリピン人の 3 歳から 7 歳までの子ども連れの親子が歌やゲームを通して楽しく英語に親しみながら参加者どうしの交流も行った。

日 時	6 月 16 日	7 月 21 日	9 月 15 日	10 月 20 日	11 月 10 日	12 月 1 日
	日曜日 10:00～12:00					

場 所	多文化共生センター					
講師	Filipinos English Teachers in Japan (FETJ)					
参加者	14 組 28 人	9 組 19 人	13 組 25 人	18 組 35 人	12 組 24 人	16 組 32 人
合計				82 組 163 人		

⑧感謝の集い（67 人）

HICE の会員及びボランティアを対象に、日頃の支援・協力への感謝の意を込めて行った交流会。

日 時 11 月 16 日(土) 18 : 00～20 : 00

場 所 ブラジル・レストラン「ビュッフエトリニダージ」

内 容 ブラジル料理とブラジル音楽で交流の一時を楽しんでもらうと同時に、HICE 活動について中間報告を行った。

参加者 67 人

⑨ ポルトガル語スピーチコンテスト（80 人）

日 時 10 月 27 日(日) 14 : 00～17 : 00

場 所 多文化共生センター

内 容 3 分以内の自作のポルトガル語スピーチを披露、上位 3 位を決定、ブラジル総領事館より表彰

参加者 発表者 16 人、聴衆他 64 人 合計 80 人

共 催 在浜松ブラジル総領事館

協 賛 ブラジル銀行浜松支店

4. ボランティア活動支援事業（自主事業） 参加者数：延べ 1,188 人

① HICE ボランティアバンクの運営（1,136 人）

通訳・翻訳、日本語教育、ホームステイ、イベント、言語文化紹介、地球人教育に関する市民ボランティアの活動を推進した。

＜ボランティアバンク登録人数＞ 7 区分

地球人教育ボランティア	50 人
専門知識提供ボランティア	132 人
通訳・翻訳ボランティア	251 人
日本語教師ボランティア	266 人
ホームステイ・ボランティア	137 人
情報提供ボランティア	97 人
事業ボランティア	203 人

合計： 延べ 1,136 人

②ホームステイ・コーディネート（52人）

■「ザ・ヤングアメリカンズ アジアンツアー2013 夏」にホームステイボランティア紹介

依頼者 株式会社サーラコーポレーション

期 間 5月31日～6月3日（3泊4日）

紹介数 4家庭

■アメリカコロラド州コロラドスプリング市からのコロラドカレッジへのホームステイコーディネート

依頼者 静岡文化芸術大学 文化政策学部文化政策学科長 森俊太教授

期 間 5月27日～6月2日（6泊7日）

参加者 12人 ホスト 12家庭

■日本語学校生徒の日本の家庭へのホームステイをコーディネート

依頼者 静岡理工科大学 浜松日本語学院

期 間 9月21日（土）～22日（日）（1泊2日）

参加者 留学生 8人 ホスト 6家庭

■静岡大学留学生の日本の家庭へのホームステイをコーディネート

依頼者 静岡大学 国際交流センター

期 間 11月15日（金）～17日（日）（2泊3日）

参加者 留学生 5人 ホスト 5家庭

5. 国際交流活動支援事業 参加者数：延べ9,102人50件

①多文化共生・国際交流推進事業費補助金の交付（36件）

浜松市内で活動する多文化共生・国際交流関係団体を支援するため、多文化共生・国際交流推進事業費補助金を交付した。

No.	対象事業	主催団体	交付確定額
1	アンサンブルコーシュカ～マレーシアの若き音楽家達と～	ムジカアルタモーダ	80,000
2	外国籍児童就学促進事業	W I S H	150,000
3	姉妹都市訪問団受入に係る国際交流事業	浜松市引佐姉妹都市交流協会	97,000
4	日中友好交流事業	浜松市浜北日中友好協会	100,000
5	外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援	外国人子どもサポーターズクラブ	300,000
6	日本語学習支援	いなさ日本語教室	65,000
7	多文化・多世代「あそびの交流」	NPO法人みんなのおしごと	50,000

8	外国人児童初期日本語支援及び学習補助支援	そらの会	150,000
9	多文化音楽共生コンサート	尺八東海竹心会	71,000
10	日本と中国の異文化交流	天竜日中友好協会	80,000
11	アラッセ 希望教室	NPO法人ARACE	400,000
12	外国籍児童生徒への日本語教育と学習支援	龍の会	292,243
13	オープンスクール	NPO法人 ブラジルふれあい会	272,000
14	2013 世界拳法選手権大会並びに国際武道研究会 in Hamamatsu	拳法会浜松スポーツ少年団	100,000
15	外国をルーツとする子どもと保護者のための進学ガイダンス 2013	NPO法人浜松NPOネットワークセンター	399,830
16	お芝居でつながる・広がる・世界が変わる！	お芝居デリバリーぶちまり	50,000
17	中国人のための日本語勉強会	中国文化交流会	150,000
18	Utawit 浜松 2013	Utawit 浜松 2013 実行委員会	100,000
19	ジャボラ日本語教室	NPO法人日本語教育ボランティア協会	400,000
20	日本語を母語としない市民のための災害時の応急処置法の構築事業	一般社団法人 ブリッジハートセンター東海	250,000
21	定住外国人コミュニティ母語教育支援のための教室づくり構築事業	一般社団法人ブリッジハートセンター東海	250,000
22	ダイバーシティを目指す日韓青少年人財交流	一般社団法人グローバル人財サポート浜松	144,000
23	第2回グローバルストリートフェスタ	CORES	250,000
24	地域の多様なニーズに応じた多文化共生事業	多文化共生社会をめざす会	238,000
25	日本語勉強会	NPO法人 浜松日本語・日本文化研究会	200,000
26	国際食文化交流会	NPO法人A I P E A C E	50,000
27	日常と防災の日本語学習	NPO法人A I P E A C E	400,000
28	在住外国人との料理交流フェア	細江町国際交流協会	50,000
29	アメリカ キヤマス市の中学生との親善交流	細江町国際交流協会	100,000
30	日中文化の集い（国際交流）	NPO法人 浜松日中文化交流会	80,000
31	外国人住民に対する日本語学習支援「にほんご木曜教室」	NPO法人 浜松日本語・日本文化研究会	300,000
32	外国人の子どもの小学校入学準備支援事業	外国人の子どもの就学前支援をする会	250,000

33	サンバチーム育成:サンバを通じての文化交流活動	NPO法人 ブラジル文化交流振興会	150,000
34	中国春節の集い（国際交流）	NPO法人 浜松日中文化交流会	120,000
35	フィリピンナガイサ国際交流活動事業	NPO法人 フィリピンナガイサ	102,000
36	地域の多様なニーズに応じた多文化共生事業	多文化共生をめざす会	129,000
		合計	6,370,073

②天竜地域事業（305人）

■日本語教室（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）

期 間 平成25年4月7日～平成26年3月23日

日曜日 10:00～11:30 全43回

場 所 二俣協働センター（天竜区二俣町）

内 容 会話クラス、日本語能力試験受験クラス、児童日本語クラス

受講者 登録者数 延べ29人 参加者数 延べ233人

■英会話教室（自主事業）

場 所 二俣協働センター（天竜区二俣町） 光明ふれあいセンター（天竜区山東）

各コース22回 受講者 34人	初級 (火) 19:30～21:00	中級 (木) 19:30～21:00	上級 (木) 19:30～21:00
前期4月9日～9月24日	6人	8人	6人
後期10月8日～3月20日	6人	6人	6人
合計			38人

■世界の皆さんとエンジョイクッキング（自主事業）

日 時 11月17日（日）10:00～14:00

場 所 二俣協働センター

内 容 市内在住のミャンマー、インドネシア、フィリピン、ブラジル人の指導のもとに日本も含めた各国の代表的な料理作りを体験することにより、参加各国の人とたちとの交流を図った。

参加者 30人（ミャンマー・インドネシア・フィリピン・ブラジル・タイ・日本）

■光明ふれあいまつり参加（自主事業）

日 時 2月186日（日）9:00～15:00

場 所 光明ふれあいセンター（天竜区）

内 容 世界を知ってもらうためのクイズと HICE 活動紹介

参加者 スタッフ 4 人 参加者 130 人程度

② セミナールームの活用 (市委託；浜松市多文化共生センター事業) (8,609 人)

浜松市多文化共生センターのセミナールームをオープンルームとして一般に公開するとともに
講座・セミナー等の事業活動に利用した。

年間利用者数 8,609 人

④ 多文化共生・国際交流活動支援事業 (市委託；浜松市多文化共生センター事業)

■活動者のための多文化共生講座 (188 人 14 件)

「在日ブラジル人のための労働セミナー」

日 時 6 月 23 日(日) 14:30～17:30

場 所 アクトシティ コンgressセンター41 会議室

内 容 「在日ブラジル人のための新しいツールとしての『労働者のスペース』」

講師：シナラ フェイラ (ブラジル労働省)

「現在、日本の労働市場で求められているもの」

講師：内記裕之 (ハローワーク浜松)

「日本におけるブラジル人労働者たち」

講師：エジソン・ウラノ (筑波大学大学院人文社会科学研究科准教授)

「ブラジル労働市場への再適応」

講師：二宮正人 (CIATE 国外就労者情報援護センター理事長)

参加者 171 人

■多文化共生・国際交流・国際協力の活動団体とのネットワーク化事業

「国際交流・多文化共生情報交換会」

日 時 6 月 2 日(日) 11:00～12:00

場 所 多文化共生センター

内 容 ①多文化共生・国際交流推進事業費補助金の説明

②「はままつ多文化共生 MONTH 事業」の説明

③各団体の活動紹介

参加者 13 団体 17 人

■多文化共生活動コーディネート (14 件)

1) 国際交流を進めるグループ (フレクティブ：フレッシュ・アクティブ・コミュニケーション)
の活動支援。合計 3 回の交流活動開催を支援。

2) フィリピン人の英語の先生のグループ (Filipinos English Teachers in Japan:FETJ) の活動を支援

日本人・フィリピン人の3歳から7歳までの子ども連れの親子を対象に、歌やゲームを通して楽しく英語に親しみながら参加者どうしの交流を行う会「親子でEnglish」の開催を6回支援。

3) 国際理解教育活動を進める市民グループ (はままつ国際理解教育ネット) の活動を支援
担い手となる人材育成のための「国際理解教育ファシリテーター養成講座」の開催を4回支援。

4) Asociacion Civil Gestion Ciudadana (ペルー人コミュニティ) の活動支援
ペルーを紹介するイベント「まるごとペルー体験」の開催を支援

6. 情報提供事業 **提供者数：延べ 7,073 人** (情報カウンターでの提供数のみ計上)

①機関紙 HICE NEWS の発行 (自主事業)

発行部数：日本語版 2350 部 ポルトガル語版 2300 部 英語 900 部 合計 5,550 部

発行回数：毎月 1 日発行 年 11 回

②ホームページの運営 (自主事業)

ホームページアクセス合計数 204,619 件

HICE ホームページ (日本語、ポルトガル語、英語)

浜松市多文化共生センターホームページ (日本語、ポルトガル語、英語、中国語)

浜松市外国人学習支援センターホームページ (日本語、ポルトガル語、英語、中国語)

③Facebook の運用 (自主事業)

「いいね」合計数 1,209 件

④HICE info メールによる情報配信 (自主事業)

会員・ボランティア等に情報を配信。年間 49 回配信。

配信先 1,382 人

⑤CIR NEWS の配信 (自主事業)

国際交流員 (CIR) による英語・日本語併記の文化紹介メールマガジンを毎月配信

配信先 592 人

⑥情報カウンターの設置（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（7,073 人）

情報カウンターにボランティアを配置し、外国人市民・日本人市民に対し、必要な情報を提供。

延べ提供数 外国人 3,462 人、日本人 2,673 人 合計 6,135 人

ボランティア配置 延べ 938 人

⑦催し物案内ミニリーフレットの配布（自主事業）

春号・夏号・秋号・冬号 各 3,000 部配布

公共施設とともに店舗・ロコミにより広く配布を行った。

公益事業 2 (在住外国人支援)

1. 日本語教育事業 参加者数：延べ 10,756 人 12 件

①外国人市民を対象とした日本語教室（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業） (4,845 人)

協働団体：With U-Net

かな・漢字クラス、会話クラス、文法クラス

第 1 期	(受講者数 延べ 1,432 人)			
	講座名	回数	日付	受講者数
かな・漢字クラス	ひらがな・カタカナ	12	5 月 7 日～7 月 23 日	166
	生活漢字	10	5 月 10 日～7 月 12 日	137
	検定漢字	20	5 月 8 日～7 月 17 日	314
会話クラス	レベル 1	20	5 月 9 日～7 月 16 日	238
	レベル 2	20	5 月 10 日～7 月 16 日	183
	レベル 3	20	5 月 8 日～7 月 17 日	191
	実践会話	15	5 月 15 日～7 月 8 日	83
文法クラス	N 5 文法	10	5 月 10 日～7 月 12 日	120

第 2 期	(受講者数 延べ 1,512 人)			
	講座名	回数	日付	受講者数
かな・漢字クラス	ひらがな・カタカナ	12	9 月 3 日～11 月 19 日	163
	生活漢字	10	9 月 13 日～11 月 15 日	140
	検定漢字	20	9 月 4 日～11 月 25 日	289
会話クラス	レベル 1	20	9 月 10 日～11 月 14 日	350
	レベル 2	20	9 月 10 日～11 月 15 日	199
	レベル 3	20	9 月 4 日～11 月 27 日	204
	実践会話	15	9 月 4 日～11 月 6 日	55
文法クラス	N 5 文法	10	9 月 13 日～11 月 15 日	112

第 3 期	(受講者数 延べ 1,189 人)			
	講座名	回数	日付	受講者数
かな・漢字 クラス	ひらがな・カタカナ	12	1 月 7 日～3 月 25 日	149
	生活漢字	10	1 月 10 日～3 月 14 日	79
	検定漢字	20	1 月 8 日～3 月 19 日	212
会話クラス	レベル 1	20	1 月 9 日～3 月 20 日	257

	レベル 2	20	1 月 7 日～3 月 18 日	199
	レベル 3	20	1 月 8 日～3 月 19 日	164
	実践会話	15	1 月 15 日～3 月 14 日	65
文法クラス	N 5 文法	10	1 月 10 日～3 月 14 日	64

※会話クラス（レベル 0）（受講者数 延べ 429 人）

	期	回数	日付	受講者数
会話クラス レベル 0	第 1 期	10	5 月 10 日～5 月 31 日	73
	第 2 期	10	6 月 26 日～7 月 19 日	87
	第 3 期	10	8 月 19 日～9 月 9 日	107
	第 4 期	10	10 月 21 日～11 月 13 日	53
	第 5 期	10	11 月 29 日～12 月 20 日	49
	第 6 期	10	2 月 17 日～3 月 10 日	60

○検定クラス

※N 3 クラスは第 1 期のみ開講

第 1 期	(受講者数 延べ 85 人)			
	講座名	回数	日付	受講者数
日本語能力試験クラス	N 3	10	4 月 24 日～7 月 3 日	19
	N 4	10	4 月 15 日～7 月 1 日	66

第 2 期	(受講者数 延べ 120 人)			
	講座名	回数	日付	受講者数
日本語能力試験クラス	N 4	20	7 月 11 日～11 月 28 日	120

第 3 期	(受講者数 延べ 78 人)			
	講座名	回数	日付	受講者数
日本語能力試験クラス	N 4	10	1 月 16 日～3 月 20 日	78

②学習支援ボランティア養成講座

(市委託；浜松市外国人学習支援センター事業) (2, 191 人)

■日本語ボランティア養成講座

地域における日本語学習支援で必要とされる知識や技術を学ぶボランティア養成講座を開催。
協働団体 ネクスト

全 20 回／各期 年 2 期 1 期につき 2 コース開催

	期間	受講者数
第 1 期	5 月 7 日～8 月 29 日	434 人
第 2 期	11 月 5 日～3 月 11 日	472 人
合計		906 人

プログラム例：「日本語」と「国語」、異文化理解、外国語体験、使える日本語、修了生の声、
教案作り、模擬授業、模擬授業ふりかえり

■日本語ボランティア実地研修

With U-Net、日本語ボランティア養成講座受講生が教授技術向上を目指し、日本語教室の見学
及び振り返りを行った。

参加者数 925 人

■日本語ボランティアスキルアップ講座

日本語ボランティア養成講座修了生を対象に本講座を実施し、活動者のスキルアップを図った。

(全 12 回)			(受講者数 延べ 283 人)			
回	日時		内容	講師		受講者数
1	4 月 25 日	木	見やすい教材を作ろう！支援者のためのエクセル入門講座	森本 満寿美	With U-Net	7
2	6 月 20 日	木	外国籍児童のためのデジタル教材「こどもの日本語 1.2.3」使い方講座	福岡 昌子	三重実践日本語教育の会	22
3	7 月 26 日	金	できる日本語初級実践報告～イーストウエスト日本語学校の現場から～	澤田 尚美	できる日本語教材開発プロジェクト	17
4	7 月 26 日	金	できる日本語初級実践報告～イーストウエスト日本語学校の現場から～	澤田 尚美	できる日本語教材開発プロジェクト	16
5	8 月 9 日	金	検定漢字の進め方講座	内山 夕輝	浜松国際交流協会	10
6	8 月 9 日	金	できる日本語準拠「漢字たまご」の使い方講座	落合 知春	イーストウエスト日本語学校	28

7	11月23日	土	日本語スピーチコンテスト	—	With U-Net	86
8	12月12日	木	私にもできる！楽しい日本語 ボランティア活動	永井操・澤柳通恵・ 足立進一郎	With U-Net	27
9	12月20日	金	活動事例から学ぼう-新にほん ごく生活の漢字>漢字み〜つ けた	新庄あいみ	大阪学国際教 育交流センタ ー 非常勤講 師	20
10	12月20日	金	活動事例から学ぼう-新にほん ごく生活の漢字>漢字み〜つ けた	新庄あいみ	大阪学国際教 育交流センタ ー 非常勤講 師	20
11	3月24日	月	HAJAC システム評価者養成講座	内山夕輝 松葉優子	浜松国際交流 協会 With U-Net	15
12	3月24日	月	HAJAC システム評価者養成講座	松葉優子	With U-Net	15
総合計						283

■教職員多文化共生講座

小中学校教職員等外国人支援者を対象の夏季限定講座

協働団体：セメンチ パラ オ フトゥーロ

(全4回／各曜日) 参加者数 77人

8月6日(火) 9:00～16:15				(受講者数 延べ38人)
回	内容	講師		受講者数
1	学校で使えるポルトガル語	椎木マリナ	セメンチ パラ オ フトゥーロ	9
2	ブラジルと日本の教育システムの違い	椎木マリナ	セメンチ パラ オ フトゥーロ	9
3	やさしい日本語ワークショップ	土井佳彦	NPO 法人多文化共生リソースセンタ ー東海・代表理事	10
4	「ひょうたん島問題」から多文化共生を考える	中澤純一	はままつ国際理解教育ネット	10

8月8日(木) 9:00～16:15				(受講者数 延べ39人)
回	内容	講師		受講者数
1	学校で使えるポルトガル語	柳澤クリスチナ	セメンチ パラ オ フトゥーロ	9

2	ブラジルと日本の教育システムの違い	柳澤クリスチーナ	セメンチ パラ オ フトゥロ	9
3	やさしい日本語ワークショップ	米勢治子	東海日本語ネットワーク副代表	10
4	「ひょうたん島問題」から多文化共生を考える	三田景子	はままつ国際理解教育ネット	11

③ 地域日本語学習支援事業（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）

(3,281人12件)

■日本語学習支援団体ネットワーク会議

日本語学習支援団体間の情報の共有や共通課題の克服のためにネットワーク会議を開催した。

参加団体 21団体 32人

回	日時		内容	参加人数
1	6月20日	14:45～15:15	交流会	11
2	11月23日	13:30～15:00	活動のパネル展示	9
3	12月26日	10:00～12:00	来年度日本語教室予定打ち合わせ	5
4	1月17日	メールでの情報交換	冷凍食品への農薬混入事件、ノロウィルス対策についての多言語情報提供	7

■地域日本語学習コーディネート業務（320人12件）

- ・養成講座修了生による自主グループ「おしゃべりクラス」運営支援

「おしゃべりクラス」18回開催 延べ320人参加

- ・日本語学習支援ボランティアコーディネート

日本語学習支援団体や個人に日本語教師およびボランティアを紹介 12件

内訳：団体5件、個人5件、その他2件

■フィリピン人児童・生徒を対象とした就学支援教室

協力 NPO法人フィリピンナガイサ

ハロハロ教室（場 所：南部協働センター）

期間	曜日	時間	参加者	
			はじめての日本語	寄り添い教室

5月18日～3月22日 (全35回)	土曜日	13:30～15:30	165	500
-----------------------	-----	-------------	-----	-----

フィリピン人コミュニティが母語で実施しているため、来日したての子どもたちも安心して参加できる。日本語に触れることにより、学校や地域でも自信をもって暮らせるようになった。大学生がボランティア協力してくれたが、学校行事で一斉欠席の場合の対応に苦心した。

■ベトナム人の子ども学習支援 三方原教室

協力 静岡県ベトナム人協会

(場 所：カトリック三方原教会)

期間	曜日	時間	参加者
7月16日～3月18日(全30回)	火曜日	18:30～20:30	724

日本語学習や学校における授業の参加は非常にハードルが高いため保護者からの要望が多い。低学年の子どもたちのやる気が高く、友達と競い合って学習する姿が見られる。休憩時には違う学校の友達と近況報告をしあうなど、居場所としても機能している。

■浜北日本語教室

協力 浜北国際交流協会

(場 所：浜北文化センター 他)

	期間	曜日	時間	参加者
水曜日コース	5月8日～2月26日 (全40回)	水曜日	19:30～21:00	280人
土曜日コース	5月11日～3月29日 (全42回)	土曜日	19:30～21:00	1,260人

④浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム普及事業（文化庁委託）（439人） （自主事業）

平成24年度文化庁委託事業で策定した浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム（HAJACシステム）の普及をめざし、4つの取り組みを行った。

1) 普及検討委員会

市内日本語学習支援団体や一般財団法人日本国際協力センターに参画を仰ぎ、HAJAC システム普及に向けての課題等を検討した。

連携団体：With U-Net (HICE 日本語ボランティア有志の会)、にほんご NPO、ジャボラ NPO、
一般財団法人日本語国際協力センター、公益財団法人浜松国際交流協会事務局

開催数：2 回

2) 評価基準検討部会

浜松市外国人学習支援センターで HAJAC システムの運用を重ねながら、基準表の改善を行った。
また、評価者のための HAJAC テストマニュアルを作成した。

ワーキンググループ：4 人

開催数：11 回

テスト受講者数：127 人

3) 社会参加のための日本語教室「ていねいな日本語」

浜松市外国人学習支援センターで日本語初期指導を修了した学習者が、継続して日本語学習を行い
社会参加への足がかりとなるよう、センターより高いレベルの日本語教室を開催した。

学習者の聞き取り調査により、2 種類のクラスを設置した。

【クラス A】

保護者や支援員として先生と会話をする時や地域社会活動に参加するときに使える日本語を学ぶクラス

	第 1 期	第 2 期
期 間	7 月 6 日～8 月 31 日 (土) 10:00～12:00 全 11 回	11 月 30 日～2 月 8 日 (土) 10:00～12:00 全 12 回
場 所	浜松市多文化共生センター	
受講者数	69 人	66 人

【クラス B】

職場において上司や同僚と会話するときや、就職活動を行うときに使える日本語を学ぶクラス

	第 1 期	第 2 期
期 間	7 月 6 日～8 月 31 日 (土) 10:00～12:00 全 11 回	11 月 30 日～2 月 8 日 (土) 10:00～12:00 全 12 回
場 所	浜松市多文化共生センター	
受講者数	77 人	73 人

4) 日本語教育シンポジウム「生活者としての外国人に必要な日本語とは～日本語コミュニケーション能力評価の可能性～」

日 時 3月2日(日) 11:00～17:00

場 所 浜松市地域情報センター

参加者 100人

内 容

【事例発表】「見える評価で変わる！日本語教室」

松葉優子 (With U-Net、浜松学院大学日本語講師)

松本三知代 (With U-Net 一般財団法人日本国際協力センター日本語講師)

【パネルディスカッション】「生活者としての外国人に必要な日本語能力とは」

嶋田和子 (一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事)

石塚良明 (浜松市企画調整部国際課課長)

内記裕之 (浜松公共職業安定所外国人労働者専門官)

松葉優子 (With U-Net、浜松学院大学日本語講師)

柳澤クリスティーナ (セムチ・パラ・オ・フトゥーロ (ブラジル人保護者の会))

吉田清 (一般財団法人日本国際協力センター研修事業部特任主幹)

【オプション】浜松市多文化共生センター見学ツアー

2. 相談事業 参加者数：延べ 11,321 人

① 外国人市民のための生活相談（市委託；浜松市多文化共生センター事業）

(7,535 件)

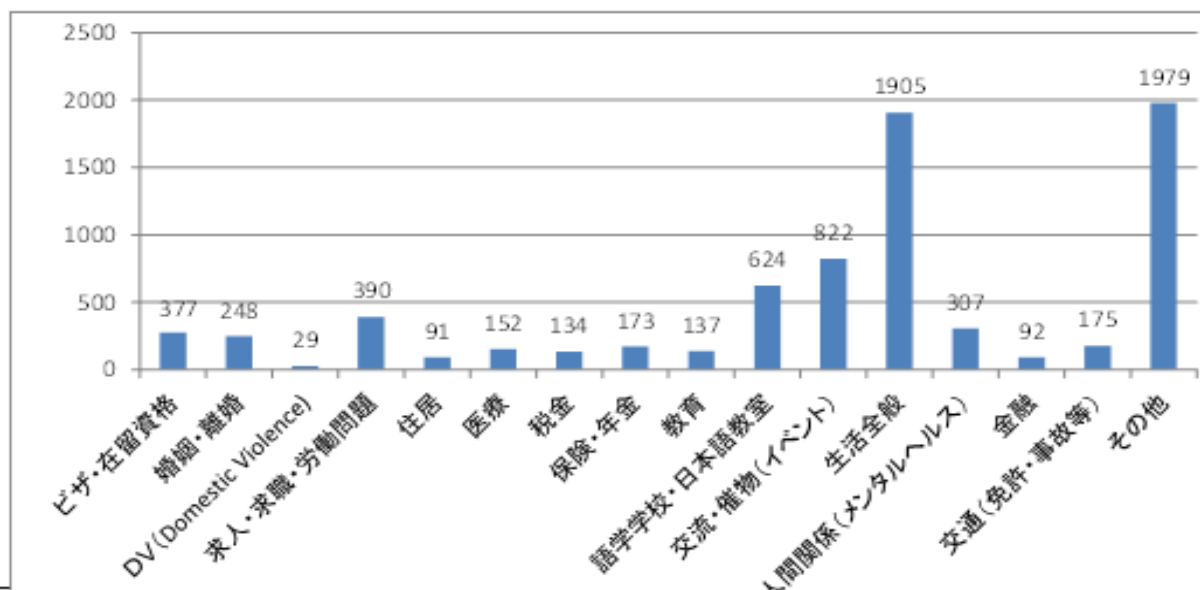
言語	曜日	時間	件数
ポルトガル語	火曜日～日曜日	9:00～17:00	4,256
スペイン語	水曜日	13:00～17:00	150
タガログ語	木曜日	13:00～17:00	370
英語	火曜日～金曜日	13:30～16:30	607
中国語	金曜日	13:00～17:00	144
日本語	火曜日～日曜日	9:00～17:30	2,008
合計			7,535

【相談内容・傾向】

昨年度に引き続き相談内容は多様化しており、「生活全般」「その他」のケースが多かった。平成25年度の特徴としては、日伯年金協定について両国での窓口対応が出来ておらず混乱がでている他、ブラジルに帰国している人からのメールによる相談や日本におけるニュースについてのコメントや批判などもあった。

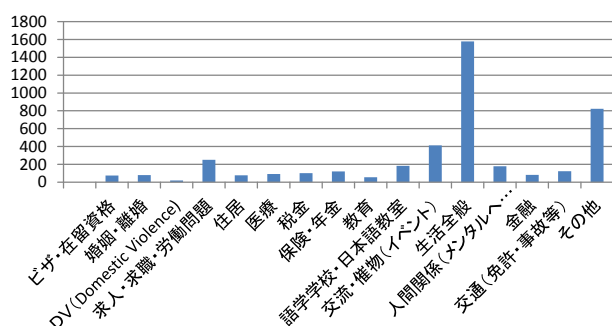
全体的には離婚や別居にともない、相手が子どもの養育費やパスポートの申請に協力してくれないというトラブルや再婚についての相談が多い。新たなビジネスの開始などについても相談があるなど、雇用労働者としてではなく自営業に移行するケースも出てきている。

生活相談(合計)



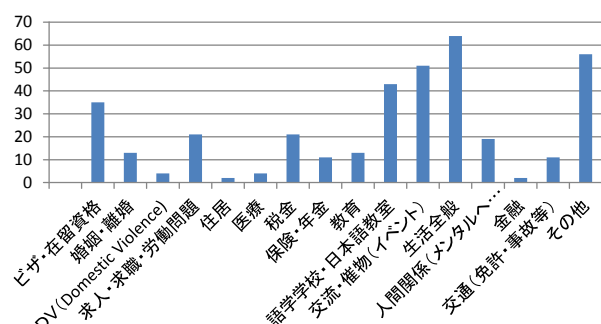
ビザ・在留資格	婚姻・離婚	DV	求人・求職・労働問題	住居	医療	税金	保険・年金	教育	語学学校・日本語教室	交流・催物	生活全般	人間関係(メンタルヘルス)	金融	交通(免許・事故等)	その他	合計
277	248	29	390	91	152	134	173	137	624	822	1905	307	92	175	1979	7535

ポルトガル語による相談



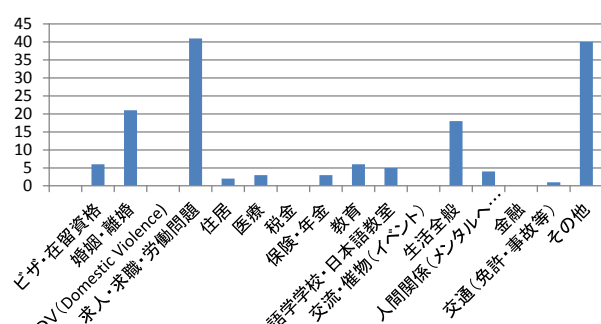
主にブラジル人からの相談。内容としては生活全般が多いが、共通点は経済面から発生する問題。経済危機の影響が続いており、借金や自己破産をしている人の相談が目立つ。コミュニティリーダーからの相談もメールを含め市内外から多数ある。

スペイン語による相談



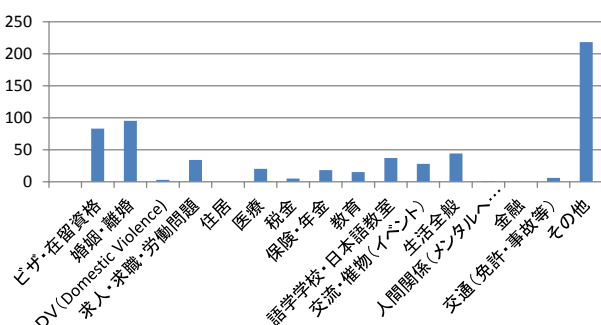
主にペルー人からの相談。日本語教室についての問い合わせから在留資格、税金などについて、幅広く相談がある。特徴としては子どもの教育を懸念している親からの相談が目立つ。

中国語による相談



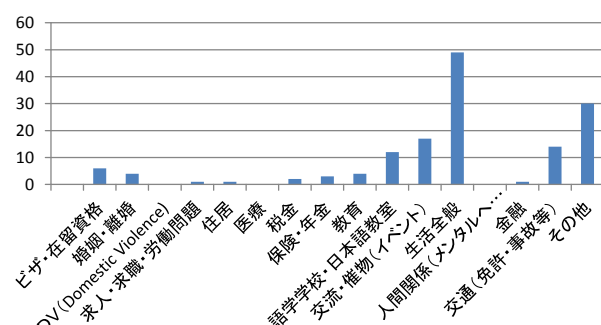
主に中国人からの相談。残業代を払ってくれない、有休がないなど、労働問題が多いが、日本と中国での離婚手続きや、中国から家族の呼び寄せなどの相談もある。日本人からは中国での投資や不動産の売買などのトラブルもある一方、中国人からは日本で投資したい、店を開きたいという相談もあった。

タガログ語による相談



主にフィリピン人からの相談。最近の特徴としては再婚手続きが多い。離婚手続き中に新しい相手の子どもを妊娠してしまい、本国では離婚が成立していないが、日本で至急再婚をしたいケースが目立つ。フィリピンでの離婚手続きのために弁護士を委任状で依頼することが必要になったため、書類についての相談もある。

英語による相談



英語圏やその他の国籍からの相談。日本語教室や交流イベントへの問い合わせの他、運転免許の切り替え、離婚についての相談もある。英語系の外国人はHICEに対して日本語教室を開催しているだけというイメージが強いが、Facebook などを利用して生活に役立つ情報発信をする必要がある。

大規模災害時には HICE が「災害時多言語支援センター」を運営することになっているので、外国人に対して HICE の認知度を高める必要がある。ブラジル人コミュニティは浜松市内では外国人の半数以上を占めているが、ブラジル総領事館やリーダーと HICE のパイプがすでにある。今後はその他の国籍との連携が求められる。エスニックビジネスや教会、人材派遣会社に出向いて出張相談会をしながら幅広いネットワークを構築していく必要がある。

②ワンストップ相談コーナーの運営（他機関連携事業）（2,286 件）

ハローワーク、労働基準監督署、入国管理局、東海大学・ブラジルマットグロッソ大学教員養成プロジェクトと連携して、それぞれ専門相談の窓口を配置した。

相談件数：延べ 2,486 件

相談件数	単位：件
機関	件数
ハローワーク	2,043
入国管理局	197
ブラジル教育相談	46
合計	2,286

*ブラジル教育相談は 7 月までで終了

④ 出張相談（27 件）

出張先 浜松外国人無料健康相談・検診会（浜松外国人医療援助会 MAF 主催）

日 時 平成 25 年 11 月 10 日（日）9:00～15:00

場 所 すずかけセントラル病院（浜松市南区）

対 象 在住外国人 相談件数：27 件

内 容 生活相談全般

⑤ 中国残留邦人支援事業（市委託事業）（447 件）

中国在留邦人とその配偶者で、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対し生活支援費を給付する際の業務補助、相談、通訳等の支援のために、相談員及び通訳を配置または派遣した。

■市内区役所（中・南・東・北）の福祉事務所に中国語による支援相談員 1 人を配置

日 時 週 4 日 13:00～17:00

相談内容 日常生活、子どもの教育問題、日本語学習、就労相談など

相談件数 延べ 341 件

対 象 13 世帯 20 人

■医療機関等へ通訳を派遣

件 数 延べ 106 件
対 象 15 世帯 46 人

⑤法律相談（自主事業）（64 人）

毎月第 4 木曜日に弁護士による法律相談を行った（12 月を除く 全 11 回）。
相談者数 延べ 64 人
協 力 静岡県弁護士会、関東弁護士連合会（11 月の拡大法律相談）

⑥税務相談（自主事業）（33 人）

日 時 平成 26 年 2 月 5 日（水）9：30～16：30
内 容 確定申告を必要とする外国人を対象に、通訳（ポルトガル語、スペイン語、英語）をつけて、申告がスムーズに行えるように支援した。
参加者 相談者 25 人、通訳 4 人、税理士 4 人 合計 22 人
協 力 東海税理士会浜松西支部

⑦メンタルヘルス相談（市委託事業）（929 件）

ブラジル人心理士 2 人を配置し、ポルトガル語でのメンタルヘルス相談を行った。

■相談

日 時 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 週 5 日 9：00～17：00
件 数 延べ 638 件
内 容 うつ、統合失調症、ストレス、不安、心理的発達障害等に関連する相談。
家族の問題、教育上の問題、医療機関への受診等についての相談。
傾 向 人間関係の悩みが多い。失業や不安定就業で経済的に生活が不安定になっている人が、夫婦関係が悪化し、子どもに影響が出て、子どもの精神的な相談として訪れるパターンがある。また、子どもは日本の学校とブラジル人学校を行き来してどちらの学校にも適応に苦労するなど、精神的な悩みを抱えるパターンがある。シングルマザーが他に相談できず一人で抱え込んでいて悩んでいるケースも多い。精神科に通っているが、医師と日本語では十分にコミュニケーションが取れないため、ここのメンタルヘルス相談においてポルトガル語で話を聞いてもらうというケースもある。

■通訳

精神科や発達相談関連の受診・相談に対し、専門家の通訳を派遣
通訳件数 延べ 204 件

■出張相談

出張先 開成中学校
日 時 平成 25 年 7 月 23 日（火）9:00～16:00
対 象 中学生 4 名、保護者 2 名

■メンタルヘルスに関する通訳者等を対象とした研修会

「ペアレント・トレーニング指導者養成研修」

＊ペアレントトレーニングとは、発達障害のある子どもの親のための子どもの育て方のトレーニング

目 的 発達障害のブラジル人・ペルー人の子どもの相談が増えているので、日本語・ポルトガル語もしくはスペイン語のバイリンガル者で、教育現場や児童相談所等の通訳として親子と関わる現場を持っている人が、ポルトガル語やスペイン語で直接保護者にペアレントトレーニングができるように研修を行う。

日 時 9月7日、14日、28日、10月19日、26日 計5回

参加者 11人 延べ51人

■メンタルヘルスに関する啓発講習会（小集団活動）

日付	テーマ	場 所	参加者
11月8日	思春期の特徴・決断のプロセス	江南中学校	11人
11月16日	不安障害の種類と特徴	浜松いのちの電話	5人
1月25日	確信を持って決心するために必要なこと	浜松いのちの電話	8人
2月8日	日常生活で幸せを感じる大切さについて	浜松いのちの電話	6人
合計			30人

■外国人向けのフリーペーパー（ポルトガル語雑誌）Boa Dica への記事寄稿

合計3回 「人格障害」「ストレス」「喪失」

3. 人材育成（市委託；浜松市多文化共生センター事業） 参加者数：593人

①ソーシャルワーク研修（292人）

■ソーシャルワーク習得講座 場 所 多文化共生センター

内 容 通訳や相談員が、多種多様な通訳場面や相談に対応するために、専門的知識を習得し、外国人市民の生活支援にあたるためのノウハウや心構えを学ぶ研修を行った。

対 象 各機関で外国人の通訳や相談にあたるバイリンガル者

ブラジル、ペルー、アルゼンチン、中国、フィリピン、日本

日時	テーマ	講師	参加者
5月25日（土） 13:30～14:30	生活・行政用語のポルトガル語翻訳について	浜松市国際課 H I C E	47人
7月6日（日） 13:00～15:30	保険の仕組み～住宅や自動車保険について	（株）オフィスマリー ン	34人

11月9日(土) 13:30～15:30	法律相談の事例	法テラス浜松弁護士 井上圭	28人
1月25日(土) 13:30～15:30	防災に関する通訳・翻訳について	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター 内藤稔	50人
3月1日(土) 13:30～15:30	自治会の仕組みについて	浜松市市民協働・地域政策課	22人

■ソーシャルワークスキルアップ講座 場 所 多文化共生センター

日時	テーマ	講師	参加者
7月20日(土) 13:30～15:30	調停による解決方法について	浜松ブラジル人協会 (A B R A H)	35人
7月28日(土) 13:30～15:30	浜松の教育が目指す外国人児童生徒教育について	浜松市教育相談支援センター	21人
9月8日(日) 13:30～15:30	ペルー人弁護士による法律相談の事例について	アラルコン・アーナ ペルー人弁護士	16人
12月7日(土) 14:00～16:00	フィリピンコミュニティリーダーミーティング	フィリピン大使館 H I C E	24人
9月29日(土) 14:00～16:00	ブラジル教育者に何ができるか	E A S ムンド・デ・アレグリーア	15人

②コミュニティ・エンパワメント（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（301人）

■ブラジル人コミュニティエンパワメント（79人）

日時	テーマ	講師	参加者
5月19日(日) 13:30～15:30	人生の計画について	ブラジル連邦蓄銀行 (C A I X A)	64人
11月24日(日) 15:00～16:30	ブラジル総領事館のサービスについて	在浜松ブラジル総領事館	15人

■フィリピン人コミュニティエンパワメント（217人）

日時	テーマ	講師	参加者
2月22日(土) 10:00～16:00	フィリピン大使館 @浜松	N P Oフィリピンナガイサ フィリピン大使館	217人

■自主グループ支援（5人）

Colors（外国にルーツを持つ若者のグループ）（5人）

メンバー 5人

経緯 「78ヶ国の浜松市民が大集合！？世界はみんなでつくる！」を企画運営した若者グループが継続的に活動をしていくために結成。活動内容についての話し合いを11月～3月までの間に3回持った。次年度に引き続き活動予定。

4. 外国人子ども支援事業（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）

参加者数：延べ11人36件

① 外国人子ども学習支援ボランティア活動コーディネート（36件）

小中学校やNPO団体などへ学習支援ボランティアを紹介など 36件

内訳：小学校18件、中学校8件、支援団体3件、その他7件

② 外国につながる若者の学び直し教室（11人）

日本で十分な公教育を受けないまま、学齢期を過ぎ、不安定な派遣などの仕事に就いている日系人を親に持つ青少年（第二世代）を対象に、自分な好きな時間と進捗に合わせて学べるeラーニングの学び直し教室（わたぼうし教室）を実施した。

協力 浜松学院大学

実施期間 平成26年2月1日～平成26年3月31日

受講生 11人（ブラジル国籍）

講師等 講師・チューター・コーディネーター 計36人

内容 ■Class AQUA：「中学校卒業程度認定試験」の合格を目指す。

《教材》英語（TOEIC）16回、英語（基礎）16回、数学8回、理科8回、社会8回

■Class ASTRO：日本語能力試験の合格を目指す。

《教材》N5コース16回、N3コース16回

学習形態 インターネットを利用した学習（ONLINE LEARNING）と教室での授業の組み合わせ。受講生が個別に学習内容と目標を設定。学習教材等を使っての自主学習、およびメール等を通じて受講生と講師がやり取りして、学習支援と精神的支援を行った。

5. 多様性を生かしたまちづくり（市委託；浜松市多文化共生センター事業）

参加者数：延べ 322 人 27 件

① はままつ多文化 MONTH 事業コーディネート

浜松市内で行われる多文化共生を推進する事業について、「はままつ多文化共生 MONTH 事業」として認定し、共通のちらしを多言語で作成（日本語、英語、ポルトガル語）するなど、多文化共生を進める活動を支援した。

ちらし 60,000 部作成 25 事業 合計 7,176 人

② 文化紹介事業

浜松市のタイ語の Facebook に記事を掲載（3 月） 2 件

内容：浜松城での花見、浜名湖でのカキ採り

③ 「78 カ国の浜松市民が大集合！？～未来はみんなでつくる！」

外国にルーツを持つ若者 4 人が企画運営し、浜松市内在住外国人を一同に呼び、交流を行うことで、多様性が豊かでまちづくりの力となるというメッセージを共有、発信した。

日 時 10 月 12 日（土） 18:00～20:00

場 所 クリエート浜松 2 階ホール

内 容 ・自己紹介ワークショップ
 ・音楽ワークショップ リード：生田真也（ドラマー）

参加者 28 ヶ国 230 名

助 成 （財）自治体国際化協会（クレア）

④地域活性化セミナー

「多文化で地域経済を活性化する」セミナー

日 時 3 月 9 日（日） 14:00～17:00

場 所 多文化共生センター

内 容 【講演】外国人の特徴をどのように生かすか

講師：村永アルツール（在日ブラジル商業会議所副会頭、

（株）アイ・ピー・シー・ワールド 代表取締役社長）

呂井フランキ勇（在日ブラジル商業会議所副会頭、

ウエグ・エレクトリック・モータース・ジャパン（株）代表取締役社長）

【事例発表】外国人起業家より

講師：斉藤ワルテル（埼玉県） 玉田エジソン（静岡県）

後 援 在日ブラジル商業会議所、浜松商工会議所、在浜松ブラジル総領事館

参加者 92 人

6. 地域共生推進事業（市委託；浜松市多文化共生センター事業）

参加者数：延べ 50 人 18 件

①各地域への個別支援（18 件）

■地域への個別支援（18 件）

地域名	内容
本郷東自治会	自治会費集金の案内文を翻訳（ポルトガル語）
遠州浜第二自治会	津波避難訓練のちらし翻訳（ポルトガル語）
遠州浜第三自治会	新しいごみの出し方についての案内文を翻訳、夏祭りでの和太鼓の打ち手の募集ちらしを翻訳、防災訓練のちらしを翻訳（ポルトガル語）、運動会における「ごみ仕訳人競争」開催支援
葵西自治会	運動会のお知らせちらし、ゴミ不法投棄禁止のちらしを翻訳（ポルトガル語、中国語、ベトナム語）。
浜北区小松地区	近隣トラブルの相談。
佐鳴台自治会	防災訓練のちらしを翻訳、通訳を派遣（ポルトガル語、スペイン語）
高丘自治会	組長の仕事について、ゴミ置き場の清掃について、災害時に備えた住民名簿づくりについての説明文を翻訳（ポルトガル語）

② 地域共生自治会会議「多文化防災ワークショップ」（50 人）

浜松市内の自治会、NPO、外国人リーダーが一堂に会し、避難所に外国人を受け入れる際に想定される課題について解決法を話し合うワークショップ「クロスロード」を行うとともに、災害時多言語支援センターの立ち上げ訓練と避難所に日本語が十分わからない外国人が来たと仮定して実践的なシミュレーション訓練を行った。

日 時 3 月 16 日（日）13：00～16：30

場 所 多文化共生センター

参加者 自治会関係者（16 自治会から 25 人）、NPO・外国人リーダー（4 団体から 15 人）、多言語支援センター要員（9 人） 合計 49 人

内 容 【前半】防災ワークショップ「クロスロード」

講師：松山文紀（NPO 法人レスキューストックヤード）

【後半】避難所運営訓練・災害時多言語支援センター立ち上げ訓練

7. 災害時多言語支援事業 参加者数：121人 12件

①災害時多言語支援センター設置準備

「多文化防災ワークショップ」 ＊地域共生自治会会議再掲

浜松市内の自治会、NPO、外国人リーダーが一堂に会し、避難所に外国人を受け入れる際に想定される課題について解決法を話し合うワークショップ「クロスロード」を行うとともに、災害時多言語支援センターの立ち上げ訓練と避難所に日本語が十分わからない外国人が来たと仮定して実践的なシミュレーション訓練を行った。

日 時 3月16日（日）13：00～16：30

場 所 多文化共生センター

参加者 自治会関係者（16自治会から25人）、NPO・外国人リーダー（4団体から15人）、多言語支援センター要員（10人） 合計50人

内 容 【前半】防災ワークショップ「クロスロード」

講師：松山文紀（NPO法人レスキューストックヤード）

【後半】避難所運営訓練・災害時多言語支援センター立ち上げ訓練

②市民団体・外国人コミュニティとのネットワークを活用した支援体制の整備（71人）

■連携会議の開催

ブラジル人コミュニティ（5月25日）及びフィリピンコミュニティ（12月7日）を対象に連携会議を開催 ＊ソーシャルワーク研修再掲

■外国人コミュニティ拠点訪問

時期：7月～9月

訪問箇所：ブラジルレストラン、ブラジル食材店、韓国系教会、人材派遣会社等 22箇所

内容：災害時多言語支援センターについての周知と防災に関するニーズについての聞き取り

③民間団体等との協働事業

- ・NPO法人日本語ボランティア教育協会（ジャボラNPO）との協働事業

入野地区で防災活動支援を自治会と連携して行うことを検討。今年度は聞き取り調査を行った。

- ・NPO法人フィリピン・ナガイサとの協働事業

12月7日にフィリピン人コミュニティリーダーを集め、防災体制検討会議を開催。24人参加。 ＊ソーシャルワークスキルアップ講座再掲

④災害時の情報提供（12件）

Facebookを使った災害時の情報提供

情報提供数 総合133件 うち、災害・防災情報 12件